

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 2

VOL.6

平成24年8月28日発行

発刊元：塾熟カンパニー（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

7月23日
昼コース

前回はふりかえって、フィールドワークへ！

夏休み中に

自分のお店をイメージしてみよう



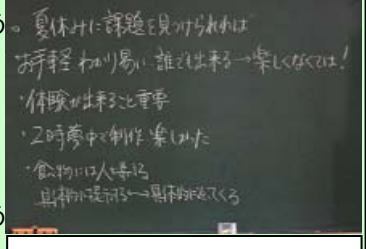
夏休み前、最後の講座。これまで2回の「お茶の間だがしや楽校（室内版だがしや楽校）」を終えた受講生たち。今回はまず、2回のお茶の間だがしや楽校のふりかえりを全員で共有した。様々な意見が交わされたが、中には、「手軽で、分かりやすく、誰でもできることが大事だ」という、だがしや楽校のコンセプトを捉えたコメントも。また、実際にやったからこそ、「みんなでワイワイやりながら、っていうところから始めるのがいいのでは」という意見も飛び出した。他のふりかえりは右記にて。

さて、このようなお茶の間だがしや楽校での学びを胸に、受講生はフィールドワークへ。目的地は、秋に行う地域版だがしや楽校の会場だ。会場の東高円寺商店街（通称ニコニコロード）に到着すると、「屋根がないから暑いわね〜」や「スーパーがあるから人通りが多いわよ」と感じたことをさっそく話し合っていた。

フィールドワークによって感じた・考えたことは、全員で共有。前回までの、お茶の間だがしや楽校の経験がアイデアへと結びついているようで、「何より自分もお客さんも楽しいことを考えましょう」という意見や「(自分たちが開く自分店の)テーマを決めたらどうかしら？」といったアイデアが交わされた。下記はそれらの感じたことをまとめたもの。なにやら夏休みにも動きがありそうな予感。これから講座外でのつながりもますます膨らんでいこう。(記事：坂本)

ふりかえりの言葉たち

- ・食べ物には人が集う ・体験が出来ることが重要
- ・子どもから大人までひきつけられる
- ・おばあちゃんの食文化（食と農）伝えたい
- ・エピカ（ブラックシアター）の良さは紙を貼っていくところだ ・じゃがいもや手品のやり方を持ち帰ってさっそく孫に見せた ・夏休みに課題を見つけられれば
- ・お手軽、分かりやすい、誰でも出来る
→楽しくなくては！
- ・2時間夢中で制作し、楽しかった
- ・具体的に提示すると、具体的に返ってくる
- ・ブログとfacebook→動画をUPすると広がり生まれるのでは？ ・みんなで創作することから始める
- ・バルーンの技をみんなが習得したら？
→みんなで広げていこう
- ・大人が楽しめること
- ・すぐ習得できること
- ・材料がすぐそろふこと
- ・積極性→形にしていこう



黒板いっぱいにならぶ、ふりかえり(書記：齊藤香織)



会場図

ニコニコロード

ココ!



バス通り

←大久保通り



↑新宿

青梅街道

↓荻窪



東高円寺駅

フィールドワーク…

何を感じた？

- ・気軽に、手軽に ・自分で出して自分で片付けられるものが良い ・時間がないから、夏休みに話し合おう ・テーマを決めよう
- ・他の人に見てもらいたい（集客が大事）
- ・自分で町会長と交渉するのもおもしろい。

以上、受講生の感想・アイデア

地域の訪問先を決める

仮説を持って現場に行ってインタビューをしよう!

8月1日
夜コース

テーマ	課題	訪問先
高齢者	どの地域にどのくらい高齢者がいるのか 本当に繋がりをもとめているか 近隣者として係りたいが、その状況は	区役所、高齢者スポット、 民生委員、グループホーム、 ボラセンなど
農業関係	生産農家のサポートをしたい 都市農業のあり方 (見る・作る・消費のトライアングル) 野菜作りをやりたい	JA 杉並、区民農園、 生産農家、JA 直売所
交流	交流をするスペースを調べたい 子供が遊ぶ場所を調べたい 地域の中で集う場、身近な繋がりを どうつくるか 五感をテーマにした多様な場作り	児童館、まちの駅、 with 遊 (コミュニティカフェ)、 防災ボランティア コーディネーター
街づくり	商店街の空き店舗の原因・対策などを調べる 荒廃地の問題を自分たちで解決したい 高円寺のイベントの仕組みを知り、参加したい	商店街、各地域、 高円寺協議会
その他	庭先等でなっている果物の有効活用 伝統文化の継承について	もったいない倶楽部、どん まい福祉工房、寺社など

受講生が出
した課題とイ
ンタビューの
訪問先



■ 意外と重複している受講生の課題

今回はいよいよ各自の「現場ウォッチングシート」を完成する日である。①自分の考える地域の課題②現場で確認したいこと、検証したい仮説③訪問する現場、話を聞きたい人 をシートに従って記入し、一人ずつ発表を行った。一番の問題は「訪問先」。どこに行ったら自分の知りたいことが聴けるのか? 考えた末、受講生が発表してくれたものは、なかなか、的を射ている! 迷っていたり、ここもいいのでは? というアドバイスを、「杉並の達人」手塚さんからもらった。まとめたものが上記表。受講生が発表している最中から、課題に関して「私も同じなのですが・・・」という言葉が意外に多く聞かれた。もちろん、ユニークな課題もいっぱい。いち区民として現場に行って、課題の解決ヒントを見つけてくる、いよいよ準備万端。

■ インタビューのコツは?

「ただインタビューするのではなく、自分が問題とと思っていることを問いかけることで、具体的な回答が得られ、短い時間でも有効な答えが引き出せます」と広石さん。仮説をもってインタビューに行くことの重要性を話してくれた。手塚さんからは、「時間的に余裕をもって」「1回だけでなく何回行くのもよい」「ガツガツでなく、うまくキーワードを聴くのが大切」などのアドバイスが。夏の終わりの課題解決レポートの発表、新しい発見の報告を楽しみにしています!(記事:湊)

事務局通信

今回はオフィシャル「お茶会」。講座が始まる前にお茶を飲みながら色々と話そう! というもの。今回は事務局、広石さん・手塚さんを入れて8名の出席でした。みなさんの登場に時間差があったので、すべての方と密には話せませんでした。が、「少人数でみっちり」とのよさが体験できました。次回はテーマを決めて話す、なんてこともいいのでは? という声も。秋になったらまたやります、出席おまちしています!! ♪



■ 今月の大人“塾” 大人塾に参加中の…イカした! 大人たちに聞きました!

① 出身 ②座右の銘、好きな言葉 ③ 自分のつながりIPR

小林久子(杉並のおばあちゃん) 女

- ① 東京都
- ② 健康心大切なり、心身ともに健康であれ
- ③ 洋裁(リフォームを楽しくやっています。)スカートからブラウスへリフォームできます。

遠藤 悦子 女

- ① 大阪
- ② 人間万事塞翁が馬
- ③ 文化財保護ボランティアをしています。杉並区内の同潤会が建てた住宅の情報をお待ちしております。

飯田 慎治(しんさん) 男

- ① 北海道石狩市
- ② 「思ったことは叶う」「思ったことしか叶わない」
- ③ 何でも手づくりします。浴衣とか巾着袋とかコースターとか封筒とか。もったいない精神で何でもリサイクルしちゃいます。

西川 三恵子 女

- ① 千葉県
- ② 「ゆっくりやすまず」
- ③ マイペースで好奇心旺盛です。歴史と異文化交流に興味があります。

□すぎなみ大人“塾”してる?の発行にあたって□

この新聞は事務局スタッフ松坂・坂本・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作